

株式会社オプトラン

2022年12月期第3四半期決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）QA サマリー

Q： 3Q 受注実績は期初業績予想と比較してどうだったか？

A： 2022年2Qから続きスマートフォンカメラモジュールが好調だった。
加えて車載やLED等、多方面でも受注が伸びた。

Q： ALD 装置受注が好調であった背景は？

A： スマートフォンカメラモジュールの高機能化のニーズが強い。

Q： 2022年4Qの受注の見通しは？

A： スマートフォンの高機能化のニーズは強い。しかし、今後の見通しについては、サプライチェーンがタイトな状況が続いていること、中国で断続的なロックダウンが発生していること等不確定要素が多くなってきている。足元のスマートフォン市場は成熟しつつあるため、今後スマートフォン向け受注水準の変動リスクが高い。

Q： 2022年4QALD装置の売上見通しは？

A： 2022年4Q売上は新型装置の割合が高くなる可能性がある。

Q： ALD 装置受注の継続性は？顧客や用途の広がりは？

A： スマートフォン上位機種向けニーズは強いと考えているが同様のニーズが2023年以降も続くとは考えていない。

スマートフォン向けでは高機能化のニーズが多様化する余地が多くある。

また、スマートフォンに限らずAR/VRや半導体、ディスプレイ向けミニLED等用途の拡大が期待できる。

Q： 米国の中国に対する輸出規制の影響は？

A： 当社が現在保有する製品に直接の影響はない。

製品に含まれる部品等が今後規制の対象となる可能性があるため、社内でのチェック体制を強化している。

Q： ALD 装置と他の装置のリードタイムの違いはあるのか？

A： 2022年はリードタイムが長くなっているが、装置の種類によって変わりはない。

Q： Afly で設備投資を行う予定だが、今後欧州の EV 関係顧客が増えるのか？

A： 自動車や半導体等、欧州や米国の顧客から引き合いがある。Afly はこれらの顧客に対し、カスタマーサービスを行うと同時に顧客と研究開発を行っていく。

Q： ALD 装置以外の新型装置の受注状況は？

A： 自動車のインパネカバーガラス向けスパッタ装置、LED 向け蒸着装置、医療向け蒸着装置等の受注が今後期待でき、特に自動車については新型装置の中心的分野になると考えている。

Q： 自動車のインパネカバーガラス向けスパッタ装置の顧客はどこが多いのか？

A： 当社装置は中国及び日本の部品メーカーに販売しているが、最終製品は欧州や米国等の自動車に搭載されている。

Q： LED 向け蒸着装置の用途及び顧客は？

A： 当社 LED 向け蒸着装置は輝度を上げる装置であり、自動車等の様々な用途に、世界の主要な LED メーカーで最終的に使われている。

Q： 医療向け蒸着装置の用途は？

A： 測定機器やレントゲンのシンチレーター向け。

Q： ALD 装置は AR/VR 向けの受注を獲得したか？

A： AR/VR 向け ALD 装置の受注は既に複数社から獲得している。

Q： 半導体が積層化した場合、ALD 装置のニーズはあるか？

A： 積層化した場合、微細化処理のニーズが高まるため ALD 装置の需要は伸びる。

以上